

## 東日本大地震長野県栄村調査報告

防衛大学校 教授 香月 智

## 1. 地震情報：

- 1) H23. 3. 12 03:59 発生
- 2) マグニチュード 6.7、栄村：震度 6 強、野沢温泉：震度 5 弱
- 3) 栄村でけが人 11 人
- 4) 当日に 804 世帯 2042 に避難指示を出す
- 5) 20 日に 798 世帯、2024 人の避難指示を解除→6 世帯 18 名避難指示継続

2. 実施日時： 平成 23 年 4 月 1 日 0900-1500

3. 調査地区： 長野県栄村

4. 調査者： 中央大学 平野廣和教授、新潟大学 阿部和久教授、紅露一寛准教授、香月

5. 調査行程等

- 1) 午前： 青倉・栄大橋地区
- 2) 午後： 横倉地区

## 6. 聞き取り

- 1) 秋山支所長： 石澤 清人氏
- 2) 現在も 200 余名が避難生活中（日中帰宅・避難所で宿泊）
- 3) 50 世帯分くらいの仮設住宅が必要だが、地積の確保その他未定
- 4) 電気は 48 時間で回復、水道（簡易水道）は、70%程度復旧した
- 5) 住宅の危険度判定は終えているが、被災認定は未定である。
- 6) 高齢者率 45%の村である
- 7) 復旧費用の見込みが立たなくて困っている。できれば、新潟県の中越地震のように、国が厚く支援体制を作って、県の財団を設立するなどの処置が望ましい。

7. 写真とコメント

- 1) 当日の状況： 第一集合地点のレストランは、調理物は販売できず、水道が使えないので臨時の便所を使用していた。



- 2) 家屋の倒壊は、青倉トンネル～栄大橋地区および横倉地区に大規模な破壊がある。



- 3) 家屋の危険度判定がなされていた。



4) 仲条橋：右岸側の橋台基盤が滑って下がったため、スパンが縮まり、桁が橋台を突き崩し、また、中間橋脚上の支承から外れている。



5) 栄大橋：遊間継ぎ手が空いたり、圧縮変形したりしている。さらに、橋台部の支承（右岸）が破壊しているが、が桁本体には大きな破壊は見られない。



6) 道路：主要道路の路面は応急補修済みであるが、路地や大きな段差などは未補修



7) 駅舎等：ホーム補修中&線路のゆがみ



8) ガソリンスタンド：地下タンクは無事だが、換気口などが破壊し、補修中



9) 飯山線線路の破壊：栄橋の下流に位置するところが破壊（橋台が少し下流にずれている）



10) スノーシェットの破壊：一連のシェット（建設年次や形式が異なる）に崩落土砂（雪混じり）が衝突し、破壊。破壊性状から推定するに、荷重が少し谷川に押し出すように作用したと見られ、崩壊したシェットに接続するシェットにも柱部に大きなひび割れが観察された。

